



西会津小だより

11月号

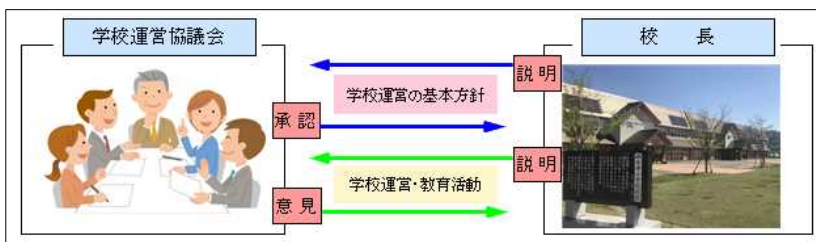
No.20

【教育目標】

心身ともにたくましく、
未来を生き抜く児童
令和3年10月29日(金)
文責：校長 博多弘泰

コミュニティ・スクール

本校は、コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置している学校)となって2年目を迎えました。今年度は、昨年度の反省から学校運営協議会委員の方々による学校支援の内容が明確化されました。夏期休業中に、交通安全担当の学校運営協議会委員の方にお出でいただき、2学期実施予定の鼓笛パレード・校内マラソン記録会への協力についてのご意見を伺い、学校だけでは気づくことができなかった課題を共有し対応策を考え、それをもとに実施方法について改善を図りました。大きな変更点は、鼓笛パレードでは終点を公民館から町役場に変更し、校内マラソン記録会では時間短縮を図る上で男女の時間差(1分)スタートに変更しました。地域に根ざした学校運営を実現するためには、学校として目指すべき教育の在り方を地域と共有し、その連携・協働のもとに教育活動を充実させていくことが必要だと考えます。今後、学校運営協議会をさらに充実させ、地域の特性を生かしながら、「地域とともにある学校づくり」「地域のよりどころになる学校づくり」を目指していきます。



運動会 10月9日(土)

運動会は、今も昔も最大の学校公開行事であり、子どもたちを大きく成長させてくれる大切な行事です。今年度もコロナ禍の中のため、家族2名程度の参観という制限を設けさせていただきましたが、子どもたちの競技や演技、運営の姿に声援や大きな拍手をいただき、子どもたちにとって大きな励みになりました。子どもたちは運動会を通して、「最後まであきらめず、やりきること」「友達と協力すること」等を経験することができ、自己肯定感を高めることができたと思います。この自己肯定感をこれからの学校生活にさらに生かしていってほしいと思います。



ふくしま学力調査から(予習・復習)

4～6年生が4月に行った「ふくしま学力調査」の質問紙調査結果から、家庭学習で「学校の宿題をしている」割合が高く、家庭学習の習慣が身についているようでした。反面、「予習や復習をしている」割合が若干低く、今後の課題です。予習は、まだ知らないことを自分の力で読み解き理解することになるので、自発性や読解力が身につきます。復習は、授業の内容の理解を深めることができます。本校では、家庭学習時間を「学年×10分+10分」としています。この時間で、出された宿題と予習・復習を家庭学習として取り組めるようにしていきたいと思います。また、県からは、ふくし



マラソン記録会 10月22日(金)



晴天の下、校内マラソン記録会が行われました。気持ちで負けず、苦しくなっても、「もう少しもう少し」と足を一步一步前に進め、最後まで一生懸命走り抜くことができました。これまでの練習の過程を含め、子どもたちは心も鍛えることができたと思います。この経験が子どもたちにとって糧となり、さらに成長をすることを願っています。

まの「家庭学習スタンダード」リーフレットが各家庭に配付されていると思います。これをもとに、学校と家庭が連携・協力して子どもたちの自己マネジメント力を高めていきたいと考えています。

11月の行事予定

2日(火)芸術鑑賞会(校庭)
4日(木)環境学習(6年)
5日(金)短縮5(町教職員研修)
6日(土)PTA奉仕作業
10日(水)学校運営協議会
15日(月)手作り弁当の日

17日(水)短縮3(中学校研究公開)
18日(木)～19日(金)修学旅行
24日(水)高齢者疑似体験(6年)
30日(火)車いす体験(6年)

個別懇談

8日(月)・11日(木)・12日(金)
22日(月)・26日(金)